

「聖書名目づくし」(子ども賛美)

旧約聖書

1. そう、しゅつ、レビ、みん、しんめいき
ヨシュア、しし、ルツ、サム、れつおう
れきだい、エズ、ネヘ、エステル書
ヨブ、詩、しんげん、でんどう、がが
2. イザヤ、エレ、あい、エゼ、ダニル
ホセア、ヨエ、アモ、オバ、ヨナ、ミ
ナホム、ハバクク、ゼパ、ハガイ
ゼカリヤ、マラキ、さんじゅうく(39巻)

【次】

「聖書名目づくし」(子ども賛美)

新約聖書

3. マタイ、マコ、ルカ、ヨハネ伝
使徒、ロマ、コリント、ガラテヤ書
エペソ、ピリ、コロ、テサロニケ
テモ、テト、ピレモン、ヘブル書

4. ヤコブ、ペテロ、ヨハネ、ユダ
ヨハネの黙示、にじゅうしち(27巻)
旧、新、両約あわせれば
聖書の数は ろくじゅうろく(66巻)

42 「ただ主を賛え」

ただ主をたたえ 愛を歌う日々

すべてにまさる

あなたの聖(きよ)き御名(みな)

ただ主をたたえ 愛を告げる日々

すべてにまさる あなたの御名を

すべてにまさる

あなたの聖き御名

新聖歌316番 「御言葉なる」

1 御言葉なる 光のうち 主と共に歩まば
行く道すじ 照らしたまわん より頼む われらに

* げに主はより頼みて 従(したご)う者を 恵みたまわん

2 み顔の笑み 輝くとき 雲 霧(きり)は消え行き
疑いなく 憂いもなし より頼む われらに (*)

3 祭壇に行き 身も心も ささぐると 同時に
喜びをば 満たしたまわん より頼む われらに (*)

4 いかにかよき 交わりぞや 妨(さまた)ぐる ものなし
昼も夜も りんざいあり より頼む われらに (*)

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌395番 「主はガリラヤ湖の」

- 1 主はガリラヤ湖の 漁師に告げぬ
「網(あみ)を捨ておきて われに従え」
また主は疲れし 世人(よびと)に告げぬ
「罪を振(ふ)り捨てて われに従え」
- 2 けわしき深山(みやま)の 谷間に呼べる
羊飼いの声 友よ聞かずや
「わが羊よなぜ かくさ迷える
汝(な)が守り手なる われに従え」

【次】

新聖歌395番 「主はガリラヤ湖の」

- 3 「罪の世(よ)にありて 罪に汚れず
うれいを慰め 疲れをいやし
汝(な)がそばにありて つねに勝(か)たしむ
いのちの道なる われに従え」
- 4 「わが跡(あと)を踏みて 右や左に
迷い行くなかれ 道(みち)狭(せま)くとも
十字架をにない 天(あめ)を望みて
常世(とこよ)の朝まで われに従え」

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの
おお みかみに

ときわに たえせず
みさかえあれ
みさかえあれ
アーメン